

C-8

No.1

現状問題	理想像	要因・背景
<p>1. 大学からの情報を確認していない学生が多いため、学生利益を確保し職員負担が増化することがある。  <small>(ポータルサイトの閲覧率の向上のため、紙の配布を減らす)</small></p>	<p>本来であれば学生が情報を取捨選択して必要な行動(手続き等)をとる。          スマートアプリ等を活用することで確認率を上げることができると。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認の手間(能動性が求めらる)</li> <li>・情報量が過多過ぎる。</li> <li>・ポータルサイトの利用方法を把握していない</li> <li>・情報の価値を理解していない(伝えられていない)</li> </ul>
<p>2. 紙資料が多いため保管場所に限りがあリコストもかかる。</p>	<p>出来る限りのペーパーレス化</p>	<p>紙文化へのこだわり          コスト感覚がない</p>
<p>3 アンケートについて次の問題がある。  <small>回収率が低い</small>  <small>集計時間が長くなる</small>  <small>PDCAが回っていない(か)ばなし</small></p>	<p>様々な工夫(OCR導入等)をすることで回収率向上・集計時間短縮を実現し、分析や改善に時間をとく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何故アンケートを実施するのかという背景・理由が伝わっていない。</li> <li>・アンケート結果がフィードバックされていない。</li> <li>・OCR導入には費用がかかる。</li> </ul>



# 1. 問題

学生が大学からの情報を確認してはかたため、資格がとれない、卒業できないといった事象が発生している

# 2. 要因

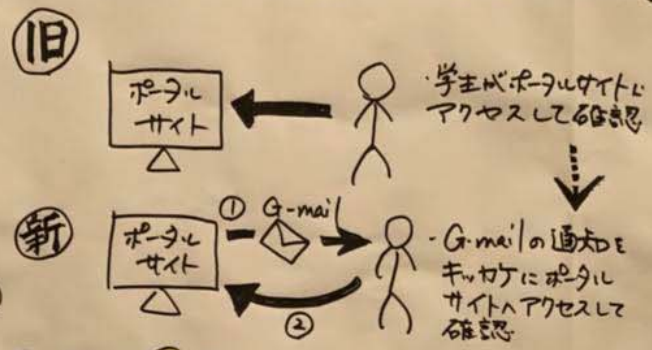
- ① 情報を確認する手間
- ② 情報の価値・重要性をわかっていない

# 3. 課題

- ① 学生が情報を確認しやすくなる環境づくり
- ② 情報を確認する必要性や情報そのものの価値を職員が十分に伝える。

# 4. 実施施策

## ① Gmailの通知機能の活用



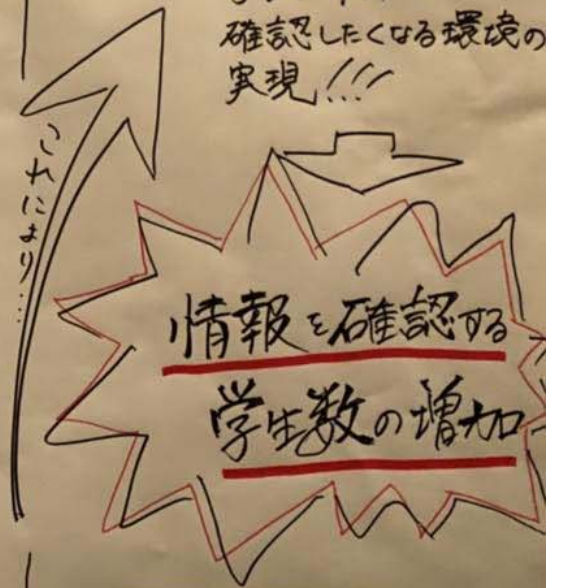
- [ポイント]
- ・ タイトル、URLのみ
  - ・ 新入生オリエンテーション時に 全員にインストールさせる
  - ・ 通知機能を利用することにより...

- ・ アプリの新規開発にコストがかからない
- ・ アクセスがよりしやすくなる

## ② 説得力のあるエビデンスを収集し、それを使って説明する。

(例) 情報確認の有無による成績や就職率の違い等の相

学生が情報を確認しやすくなる環境の実現!!!



絵で状況がわかりやすく表現されていると思われ

4-0-101 4-0-102

Gmailは見てもらうのが方法が具体的に分かりやすいと思われ

1700 学習・試験の